

授業概要

商業科教育法Ⅰで学習した内容を深化させる。そのために、①商業教育の歴史を学ぶことにより現在の商業教育の在り方を考察する。②現在の教育課題を商業教育の視点から解決策を見出す。③充実した模擬授業を行い、そのために模擬授業準備指導、模擬授業後の研究協議も行う。④教員の資質向上の視点から商業科教育への期待及び商業教育の展望を教授する。

授業計画

第 1 回	商業教育の歴史～太平洋戦争前の商業教育
第 2 回	商業教育の歴史～新制教育制度から現在までの商業教育
第 3 回	商業教育と学習指導要領の変遷
第 4 回	「生きる力」と商業教育
第 5 回	総合的な学習の時間と商業教育
第 6 回	発達障害の生徒に対応する商業教育指導
第 7 回	商業科目における資格取得の指導方法考察
第 8 回	商業教育と特別活動
第 9 回	商業教育と生徒指導
第 10 回	ビジネス経済分野における模擬授業のための事前指導及び学習指導案の作成
第 11 回	模擬授業と研究協議（ビジネス経済分野）
第 12 回	会計分野における模擬授業のための事前指導及び学習指導案作成
第 13 回	模擬授業と研究協議（会計分野）
第 14 回	商業科教員への期待
第 15 回	商業教育の展望
第 16 回	定期試験（試験用レポート）

到達目標

商業科の教師としてのあらゆる教育課題に対応する資質を身につけさせる。また、模擬授業指導を通して具体的な指導方法を会得させる。

履修上の注意

履修条件は特にないが、簿記、会計学、経営学、経営財務論、商法、会社法、憲法、民法など高校商業の科目に関連するものは幅広く履修することが望ましい。

予習・復習

第 1 回の授業で指示する。また、毎回の授業で詳細に指示する。

評価方法

定期試験用レポート評価（60%）・レポート4回（40%）

テキスト

『最新商業科教育法』 日本商業教育学会編著 実教出版 2011 年
学習指導要領商業編
※その他授業にて必要に応じて指示します。